



## 協力会社と共に

当社では協力会社にも安全・品質・環境などに関する当社の方針を理解してもらうことがお客さま満足の上につながると考えています。協力会社を「ものづくりの主役であり、フジタの建設事業の重要なパートナー」と位置づけ、協力会社組織として「フジタ全国連合藤興会」を構成しています。事業拡大にともない当社にとって協力会社はさらに重要な存在となっており、これまで以上にパートナーシップを強化し、協力会社社会に加盟する企業の事業の安定化や共に成長できる体制づくりを目指しています。

### 適正な調達の実践

当社は「フジタグループ企業行動基準」「調達規程」「調達業務要領」、大和ハウスグループが定めるガイドラインなどに基づき、協力会社との共存共栄を目指した透明性のある調達を実践しています。調達の基本方針としては、施工技術力の基盤である協力会社との連携のほか、大和ハウスグループの一員としてのメリットを生かし、お客さまからのニーズに応えた高品質な建物を提供する確かなパートナーとして協力会社の選定をしています。

### サプライチェーン サステナビリティ ガイドライン

大和ハウスグループでは、調達を含めた事業におけるさまざまなリスクに対応するため、社会性や環境性について取引先に遵守していただきたい規範を示した「CSR調達ガイドライン」を2015年に制定し運用していましたが、より時代に即したガイドラインとして「大和ハウスグループ サプライチェーン サステナビリティ ガイドライン」に改定し、2023年度より運用を開始しています。

本改訂においては、環境、災害、人権、セキュリティなど世界的規模の問題に対する適切な対応が課題となっている背景を踏まえ、大和ハウスグループが将来の夢として描く「生きる喜びを分かち合える世界」の実現に向け目指すべき姿を考慮した見直しとなっています。

引き続き、大和ハウスグループ全体でのシナジーを創出するとともに、協力会社との連携を深めながら、今後さらなる高みを目指した基準をクリアして社会・環境に配慮した事業を推進してまいります。

### 大和ハウスグループ サプライチェーン サステナビリティ ガイドライン

#### 1. 取引先行動規範(Code of Conduct)改定版

社会性・環境性についての7つの原則

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1) お客様との信頼関係の構築  | 5) 環境の保全    |
| 2) 高い倫理観に基づく事業活動 | 6) 地域との共創共生 |
| 3) 労働安全・衛生への配慮   | 7) 人権の尊重    |
| 4) 公正な事業活動       |             |

#### 2. 企業活動ガイドライン

社会性・環境性に関して具体的な事項を示したもの

#### 3. 物品ガイドライン

リスクが高く、かつ物品そのものに基準を設けることで管理が可能な「化学物質」と「生物多様性」についてのガイドライン

- 1) 化学物質管理ガイドライン【基本編】
- 2) 生物多様性ガイドライン【木材調達編】

[https://www.daiwahouse.co.jp/sustainable/csr/pdfs/csr\\_procurement\\_guidelines.pdf](https://www.daiwahouse.co.jp/sustainable/csr/pdfs/csr_procurement_guidelines.pdf)



### 認証木材の調達、グリーン調達・購入

木材調達において、大和ハウスグループでは環境長期ビジョン「Challenge ZERO 2055」を掲げ、2030年までに建設する建物における木材の調達にともなう森林破壊をゼロにし、2055年までに全事業における材料調達による森林破壊ゼロの実現を目指しています。

当社は大和ハウスグループが定める「生物多様性ガイドライン【木材調達編】」に基づき、調達量の多い木材に関する調査を毎年行い、合法性と持続可能性の観点から森林破壊につながるリスク状況の把握と、高リスク部材に対する改善に取り組んでいます。2022年度は、木材を扱い施工を行う協力会社48社に調査を依頼した結果、森林破壊リスクのあるCランク木材の使用率は16%（目標10%以下）と、責任ある木材調達の意識が浸透してきているものの目標は未達となりました。また、2022年度からは型枠合板も調査対象とし、47社に調査を依頼しています（管理目標対象外）。引き続き、取引先への改善依頼や個別指導などにより認証木材の調達を推進していきます。

オフィスのグリーン購入については、事務用品を原則グリーン購入として運用し、2022年度のグリーン購入率は98.2%（目標95%以上）でした。支店ごとのさらなる達成率向上に向け、グリーン購入対象品での購入促進をさらに強化していきます。

### 労働環境の向上に向けて

当社では、サプライチェーン全体における共存共栄と新たな連携による相互の付加価値向上を目指す「パートナーシップ構築宣言」を公表しています。

職場環境の向上に向けた問題点の顕在化、グリーンな取引関係の醸成に向け、大和ハウスグループ取引先アンケート調査を年に1回実施しています。2022年度は、2021年度に取引のあったフジタ全国連合藤興会加盟企業670社および協力会社企業513社を対象にインターネットを利用した匿名の調査を実施しました。

このほか「サプライチェーン サステナビリティ ガイドライン(旧CSR調達ガイドライン)」の遵守状況についても、取引先のセルフチェックを通じたモニタリング調査を行なっています。2022年度は対象取引先491社に対し448社（回答率91.2%）が回答しました。今後も個別フォローを行うなど、回答率とガイドライン適合率のさらなる向上に努めます。

また、取引先からの通報制度体制は大和ハウスグループ全体として運用している「パートナーズ・ホットライン」に加えて、フジタ独自の通報窓口「企業倫理ヘルプライン」も設

けており、協力会社の社員より個別の相談も寄せられ、労働環境の改善につなげています。取引先における各種通報制度のさらなる浸透に向けて取り組んでまいります。

2024年度には建設業にも改正労働基準法に基づく罰則付きの時間外労働の上限規制が適用されることを踏まえ、フジタ全国連合藤興会加盟企業と作業所の週休2日の実現に向けた「働き方改革」の推進にも取り組んでおり、労働環境の向上を目指しています。

### 協力会社の人財確保に向けて

パートナーである協力会社の担い手確保に向け、フジタ全国連合藤興会加盟企業と共に建設分野特定技能外国人の受け入れや、建設技能者の確保、受け入れ環境の整備に取り組んでいます。

技能者一人ひとりの就業実績や資格を登録する「建設キャリアアップシステム(CCUS)」の加入促進と活用により、作業所に入場する特定技能外国人の在留資格などの確認、安全衛生教育を徹底し、さらなる建設業の魅力向上から人財確保に努めてまいります。

### Comment

フジタ全国連合藤興会は日本全国11地区の約1,200社が加盟するフジタの協力会社組織として、全国レベルで連携を図りながらフジタと藤興会会員各社の発展のための活動を展開しています。また、各11地区内においても、各地区藤興会がそれぞれの地域でフジタの重要なパートナーとして、日々の安全推進活動をはじめ品質、環境、生産性向上などさまざまなテーマで活動しています。未来の藤興会を担う二世会の活動も大変活発で、藤興会行事への参画や研修事業などを通じ、研鑽を積みながら全国各地で活躍しています。

2023年度に入り、ようやく生活もコロナ禍前の状況に戻りつつある中で、藤興会活動も再スタートを切り、フジタと藤興会会員各社にとって新たな飛躍の年となることを期待しています。一方で、終わりの見えないウクライナ侵襲と、それにともなう原油や資材の高騰、円安の進行など、経済環境はより厳しくなることが予想されます。フジタと藤興会では、あらゆる環境に対応するためフロントローディングを強化し、無理・無駄のないスムーズな作業所進捗を目指し、原価低減と限られた労務力の最適化に尽くしてまいります。

「働き方改革」についても4週8開所に向けて、フジタと藤興会とが一体となりBIM/CIMを含むDX化を進めつつ、あらゆる業務・作業の生産性向上を考え、試行・実践しながら全力で取り組みます。

多くの課題がありますが、今こそフジタと藤興会がコロナ禍で失われたコミュニケーションを密に復活させ、膝と膝を突き合わせた本音の議論で相互に信頼できるパートナーとして力を合わせて、希望と魅力にあふれる明るい未来の確立に向けて力強く活動してまいります。



フジタ全国連合藤興会  
会長  
平岩 敏和様